



市長 **西村和平**

新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、健やかに希望に満ちた新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、2020年の記念すべき本年、「加西市協創のまちづくり条例」を制定しました。この条例により、地域住民に加え、加西市に興味や関心、思いを寄せる市外在住者（関係市民）の参加・協力を得て、協働の輪を広げ、地域課題の解決や新たなまちの魅力の創出を目指していきます。

昨年、中国自動車道加西インター周辺の新産業団地に第1号の進出企業が決定しました。令和2年度末の引き渡しに向け、工場用地の造成工事が進められています。残りの工区の開発整備もスピードアップし、雇用の拡大と人口の流入、市税収入の増加を通じて、地域の活性化を図ります。

鶴野飛行場跡地では、多発する風水害や地震等の災害に備えて、昨年、防災の拠点施設となる備蓄倉庫を建設しました。また、「紫電改」実物大模型の一般公開では、毎回多くの方が来場され、戦争の悲惨さと平和の尊さを考える契機となっています。本年、平和学習として、県外から修学旅行で3校の中学校を受け入れます。今後、地域活性化拠点施設の建設と合わせて、国道372号線のバイパス化をはじめ、周辺道路の整備にも取り組んでいきます。

市内全域で、幼児教育・保育施設の整備を進めています。本年4月には、泉中学校区の幼稚園、幼稚園、保育所を統合した「泉よつばこども園」が開園し、市内全中学校区に認定こども園が整備されます。小中学校の将来のあり方は、教育現場や保護者、総合教育会議の意見を踏まえ、子どもたちにとって望ましい教育環境整備と生きる力を育む最適案を作成し、タウンミーティング等で周知して、方針を決定していきます。

加西病院では、地域包括ケア病棟を増設し、地域多機能型病院の役割を強化していますが、今後、耐震改築に合わせてさらに医療体制の最適化を図ることで、誰もが健康で安心して暮らすことができるまちづくりを進めていきます。

結びに、市政へのより一層のご理解とご協力をお願い申し上げ、皆さまのご健勝とご多幸を心から祈念申し上げまして、新年のごあいさつといたします。



加西インター産業団地の第1号進出企業に決定したリスパック(株)との協定会見



教育長 **兼松儀郎**

新年あけましておめでとうございます。皆さまには、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は加西市の教育行政の運営にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

教育委員会では、加西市教育大綱を踏まえ、加西市教育振興基本計画に示される「新しい時代を切り拓くところ豊かで自立した人づくり」を基本理念とし、教育施策を推進しています。

学校においては、児童生徒の「確かな学力」を育成するため、全国学力・学習状況調査の結果等を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組みます。特に、令和2年度から小学校では新学習指導要領が全面实施となります。小学校において外国語が教科となり、外国語指導助手（ALT）や地域人材の活用などにより、外国語教育の一層の充実を図るとともに、国際理解教育を推進してまいります。また、道徳教育の充実や体験活動などにより「豊かな心」を育て、体育や健康教育、食育を推進し「健やかな体」を育てます。学校給食については、南部学校給食センターを移転改築します。

また、「泉よつばこども園」を開設する予定であり、幼児期の保育・教育のさらなる充実を図ります。「0歳から15歳までの一貫した教育」という観点から、幼児教育と小学校教育との円滑な接続を図っていきます。これからの社会では、生涯を通じた「学び」を充実させることがますます求められています。そのため、「いつでも、どこでも、気軽に」学べる公民館活動を充実させます。また、生涯学習拠点として図書館の活性化を図るとともに、市立図書館と学校図書館が連携を一層強化し、子どもたちの読書活動を促進していきます。また、ふるさとの豊かな歴史文化遺産の保存とこれらを生かしたまちづくり、人づくりを進めます。日頃の教育の積み重ねや学習の継続が、子どもたちの「生きる力」の育成や市民の皆さまの充実した生き方へと結実していくことを願っています。

結びに、皆さまのご健勝とご多幸を心より祈念申し上げまして、新年のごあいさつといたします。



幼小交流



議長 土本昌幸

新年あけましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。平素は、市議会の運営ならびに活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

近年、毎年のように大きな災害が日本各地で発生しており、昨年10月には台風19号の上陸により関東甲信地方や東北地方に記録的な大雨が降り、甚大な被害をもたらしました。市民の安全・安心を守るため、災害対策のより一層の充実が急務であると感じております。

市政においては、加西インター周辺の産業団地の整備や鷗野飛行場跡地での新たな観光スポット、平和学習の場となる地域活性化施設の建設、また、加西病院の建て替えなどの大型プロジェクトが想定されており、限られた財源の中で財政の均衡を図りながら、これらの諸課題に取り組んでいかなければなりません。議会としても加西市の将来を見据え、将来にわたって安心して暮らせる社会の実現に向け、議論を深め、適切な意思決定を行ってまいります。

昨年は、市議会議員選挙が行われ、定数の3分の1にあたる5人が新たに議員となり、4年ぶりの女性議員や20代の若い議員が誕生しました。幅広い視点から市政をチェックし、多様な意見を市政に反映できるように議員一人ひとりが研さんに努めるとともに、市民の皆さまから拝聴したご意見やご要望を市政に反映するしくみづくりや災害が発生した場合の議会・議員の行動指針の策定に取り組んでまいります。

市議会では、議会基本条例の理念に基づき、開かれた議会を目指して、本会議や委員会の審議の状況をインターネットによるライブ中継および録画中継を行っており、スマートフォンでもご覧いただけますので、ぜひともご覧いただき議会に関心を持っていただければと思います。議会が市民の皆さまに信頼され、より身近な存在になるよう取り組んでまいりますので、本年も、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、市民の皆さまにとりまして今年一年が健やかで実り多い年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。



普通救命講習を受講

空き家等の対策に関する協定を締結

問合せ／きてみて住んで課 ☎42-8764
fax43-1802 kiteka@city.kasai.lg.jp

11月28日、加西市と加西空き家対策専門家協議会「え〜がい加西」は、空き家等の対策に関する連携を行い、市民生活に影響を及ぼしている空き家等を改善し、もって市民が安全で安心して暮らせるまちづくりを一層推進することとし、その取り組みを円滑に遂行するため協定を締結しました。

■連携業務の内容

- ・空き家予備軍に対する予防対策の推進
- ・空き家等の法律相談、登記相談、売買や賃貸相談、修繕・解体相談
- ・空き家等の対策に必要な情報の共有および発信



協定を交わした後藤代表（左）と西村市長

■え〜がい加西の概要

加西市の建築士、税理士、司法書士、不動産事業者などで構成する協議会で、空き家相談のワンストップ窓口を設置しています。



空き家セミナー・相談会

●内容

- ・セミナー各30分（①空き家放置 ②相続登記 ③土地境界 ④遺品整理）
- ・個別相談（要事前予約）

●日時：2/15（土）13:30～

●場所：健康福祉会館研修室1

●申込先：加西空き家対策専門家協議会 ☎☎8810